

令和2年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（食品の安全確保推進研究事業）

食品行政における国際整合性の確保と食品分野の国際動向に関する研究

研究分担報告書

食品添加物部会における検討過程に関する研究

研究分担者 窪崎敦隆

国立医薬品食品衛生研究所

研究要旨

コーデックス食品添加物部会（CCFA）は、消費者の保護と公正な食品貿易の確保を目的とするコーデックス委員会における一般問題部会の一つとして設置されている。CCFAでは、食品添加物に関する諸問題の解決に向けた議論を行うとともに、世界で唯一参照すべき食品添加物の規格として **General Standard for Food Additives**（GSFA：食品添加物一般規格）を作成している。国際整合性を進める観点から、GSFA等のコーデックス規格を自国の食品添加物規格として準用する国々が増えている一方、我が国は、自国の食品添加物関連規制を有しており、コーデックス規格との整合性について検討すべき課題を有している。したがって、本研究では、我が国の食品安全行政の国際対応に役立てることを目的に、令和2年度のCCFAの動向をまとめ、我が国のCCFAへの対応と今後の課題について整理した。

A. 研究目的

食品にかかわる消費者の健康保護と公正で公平な食品の世界貿易を確保することを目的に1963年に設立されたコーデックス委員会の一般問題部会の一つとして、コーデックス食品添加物・汚染物質部会が1964年に設置された。しかし、本部会で審議すべき議事が多く、審議時間の確保が難しくなったことから、2007年から食品汚染物部会（Codex Committee on Contaminants in Food：CCCF）と別れる形で、コーデックス食品添加物部会（Codex Committee on Food Additives：CCFA）が設

置され、中国が議長国となって開催されることとなった。部会を分けたことから判るように、CCFAで取り扱う審議議題が多岐にわたり、また各国の関心が高い事項が多いことから、我が国としても本部会への積極的な関与が必要であると考えられる。特に、我が国は、これまでの食経験に基づいた既存添加物という食品添加物の規格を有するなど、コーデックス規格との整合性について検討すべき課題を有している。そこで、本研究では我が国の食品添加物における食品安全行政の国際対応の改善に寄与することを目的に、

CCFA での議論の動向をまとめ、我が国が取るべき対応について検討することにした。

これまでコーデックス委員会における会議は、原則、議長国が準備をする会議場に一堂が介して対面形式で開催されてきたが、COVID-19 の感染拡大の影響により、2020 年 3 月以降、予定されていた全てのコーデックスの会議が延期となった。2020 年 7 月に開催を予定していたコーデックス総会（Codex Alimentarius Commission : CAC）については、開催せざるを得ないとして、日程を分散させてオンラインソフトを用いたバーチャル会合で 9 月末から 11 月上旬にかけて開催した。その後も、我が国を含めた各国において COVID-19 の感染拡大が続いており、今後も物理的会議を開催される目途が立たない状態である。このような背景を受け、CAC や一般原則部会（Codex Committee on General Principles : CCGP）において、オンラインソフトを用いたバーチャル会合の運営について検討が進んでいる。そこで、今年度の本研究において CCFA の開催に向けた動向と CCFA52 の議事の整理を行うとともに、ウィズコロナ時代の CCFA の対応や中長期的な視野に立った対策について検討した。

B. 研究方法

B-1 CCFA52 を対象とした研究方法

2020 年 3 月に開催が予定されていた

CCFA52 は、その後 3 度にわたり延期された。物理的会合とバーチャル会合の開催形式の判断も含めて、今後の CCFA 事務局への対応を考える基礎情報とすることを目的に、その経過を整理した。また、2021 年 3 月末現在、2021 年 9 月 6 日から 9 月 10 日にバーチャル会合の形式で開催する予定になっている CCFA52 の議事について概要を整理して、今後の対応方針作成の基礎資料とすることにした。

B-2 ウィズコロナ時代の CCFA 会議に関する意見交換会

これまで CCFA の会合は、3 月に開催されてきたが、世界規模の COVID-19 の急速な拡大の影響を受け、2020 年 3 月に予定されていた CCFA の会合は延期となり、令和 2 年度中には開催できなかった。そこで、過去に CCFA に参加経験のある 5 名の方々に、バーチャル会合の利点・欠点について、更に、長期的視野に立ち、今後の CCFA への対応で日本が考えておいた方が良い課題に関して意見交換会をバーチャル会合で行い、今後の対策について検討した。

C. D. 結果及び考察

C. D.-1-1 CCFA52 開催に向けた経過について

2021 年 3 月末日までの CCFA52 開催に向けた経過は以下であった。

2019 年 3 月 25 日から 3 月 29 日に中華人

民共和国(中国)の山東省済南で開催された第51回コーデックス食品添加物部会(CCFA51)が終了した後、次回CCFA52は、2020年3月2日から3月6日までの期間で中国の甘粛省蘭州で開催されることが予定されていた。しかし、中国・湖北省武漢市で発生が報告されたCOVID-19の世界的な急拡大の影響を受け、本研究が開始される前の2020年2月3日の段階で1回目の開催延期が決定され、2020年6月22日から6月26日に中国の同じ会場で行うこととされた。しかし、本研究開始後の2020年5月6日にCOVID-19の世界的な影響からCCFA事務局より、2回目の延期の連絡が出され、2021年3月8日から3月12日に中国のいずれかの都市で開催されることとなった。さらに、2021年1月19日にCCFA事務局より3回目の延期の決定が公表され、2021年9月6日から9月10日に開催するとされ、中国のいずれかの都市で開催する物理的会合かWeb会議システムを用いるバーチャル会合で行うかは検討中とされた。その後、2021年3月26日になって、バーチャル会合で行うこと、それに伴って日程が変更(9月1日～3日、6日～7日、10日)になること、Pre-session meetingsを8月31日に行うこと、作業部会を6月21日から6月25日に行うことが発表された。

一方、EWGについては、2020年7月29日にCCFA事務局よりCCFA52に向けてCCFA51で設置された「EWG on alignment」

「EWG on the International Numbering System for Food Additives (INS)」 「EWG on GSFA」を再開するとの連絡があった(ただし、この時点では2021年3月8日～3月12日の開催を目指していた)。

令和2年度中のCCFA52開催に向けた経過を振り返ると、CCFA事務局のCCFA52開催可否判断が大変困難なものであったことが伺える。COVID-19の感染拡大が続いている現状では、今後も急な変更の連絡があると考えて、対応を想定しておく必要がある。

C. D.-1-2 議事予定について

2021年3月末日時点で入手できたCCFA52の「Provisional Agenda」と会議文書を基に議事の概要を整理したが、会議文書の一部はまだ公表されていなかった(CX/FA 20/52/1, November 2019; 別添資料1)(CX/FA 21/52/1, March 2021; 別添資料2)。また、CCFA52はバーチャル会合で行うことが決まっているが、議事内容が「CX/FA 20/52/1」を踏襲しており、バーチャル会合で物理的会合を想定していた2019年11月時点の議事を全て終えることは困難と思われることから、今後、議事の変更(選択)が行われることが想定される。

① 議題2. コーデックス総会及びその他の部会からの付託事項

CCFA52では、第42回コーデックス総

会 (CAC42)、第 40 回分析・サンプリング法部会 (CCMAS40)、第 31 回ヨーロッパ地域調整部会 (CCEURO30)、第 41 回栄養・特殊用途食品部会 (CCNFSDU41) の審議結果についてコーデックス事務局から報告された後、CAC や他の部会及び前回の食品添加物部会 (CCFA51) で今後検討することとした事項について議論を行う予定になっている。2021 年 3 月末日時点では、2020 年 9 月下旬から 11 月上旬にバーチャル会合で行われた CAC43 の結果を踏まえた会議文書への追記は行われていない。

② 議題 3(a). FAO/WHO 及び第 87 回、第 89 回、第 91 回 FAO/WHO 合同食品添加物専門家会議 (JECFA) からの関心事項

Joint FAO/WHO Expert Committee of Food Additives (JECFA) 審議結果について JECFA 事務局より報告される予定になっている。2019 年 3 月に開催を予定していた CCFA52 では、第 87 回 JECFA のみが対象であったが、CCFA52 が延期している期間にも JECFA の審議が行われたため、2021 年 3 月 31 日現在入手可能な仮議題 (Agenda Item 1) では、第 89 回と第 91 回 JECFA からの関心事項についても追加されている。追加の会議文書として「CX/FA 21/52/3 Add.1」と「CX/FA 21/52/3 Add.2」が出される予定になっているが、現時点での会議文書 (Agenda Item 3(a)「CX/FA

21/52/3」) は変更されておらず、第 87 回 JECFA のみの記載になっている。

③ 議題 3(b). 第 87 回、第 89 回、第 91 回 JECFA 会合からの食品添加物の同一性及び純度に関する仕様書原案

JECFA で審議された食品添加物の同一性及び純度に関する仕様書案について JECFA 事務局より報告される予定になっている。議題 3(a)と同様に、2019 年 3 月に開催を予定していた CCFA52 では、第 87 回 JECFA のみが対象であったが、CCFA52 が延期している期間に第 89 回と第 91 回 JECFA の審議が行われたため、2021 年 3 月 31 日現在入手可能な仮議題 (Agenda Item 1) では、第 89 回と第 91 回 JECFA の審議事項についても追加される予定になっている。追加の会議文書として「CX/FA 21/52/4 Add.2」と「CX/FA 21/52/4 Add.3」が出される予定になっているが、現時点での会議文書 (Agenda Item 3(b)「CX/FA 21/52/4」) は変更されておらず、第 87 回 JECFA のみの記載になっている。

④ 議題 4(a). コーデックス規格における食品添加物及び加工助剤の食品中の最大濃度の承認/改訂

コーデックス手続き手順書 (Procedural Manual) に食品規格における全ての食品添加物 (加工助剤を含む) の条項は、CCFA の承認を受ける必要があることが記載されており、各部会から提出された規格案

における食品添加物条項案で検討が要請されている事項について審議する予定になっている。

⑤ 議題 4(b). 個別食品規格の食品添加物条項と食品添加物の一般規格 (GSFA) の関連条項の整合:整合に関する電子作業部会報告

CCFA は、個別食品規格の食品添加物条項と General Standard for Food Additives (GSFA) の関連条項を整合させるための取組みを進めている。「整合に関する電子作業部会」は、オーストラリアが議長国であり、米国と日本が共同議長国を務めている。

⑥ 議題 5 (a). 食品添加物に関する一般規格 (GSFA) : GSFA に関する電子作業部会報告

「GSFA に関する電子作業部会」の報告が行われる予定になっている。2019 年 3 月に開催を予定していた CCFA52 の会議文書として「CX/FA 20/52/7」が公開されていたが、2021 年 3 月 31 日現在入手可能な仮議題 (Agenda Item 1) では、会議文書が「CX/FA 21/52/7」と「CX/FA 21/52/7 Add.1」へ変更になっており、「CX/FA 21/52/7 Add.1」については公開されている。

⑦ 議題 5 (b). 食品添加物に関する一般規格 (GSFA) : 食品添加物条項の新規/改訂の提案

食品添加物条項の新規/改訂の提案に関する回付文書「CL 2019/40-FA」と「CL 2020/36-FA」に対して、それぞれ「オーストラリア、ウガンダ、Food Drink Europe」と「コロンビア、International Stevia Council (ISC)」から提出された食品添加物条項の新規提案又は改訂案について GSFA 規格策定プロセスに含めるか検討して回答を作成する予定である。

⑧ 議題 5(c). 注釈 161 に関連する甘味料の関連条項に関する継続討議

これまでに電子的作業部会を設置して、甘味料の使用に関する事項の審議を進めた結果、注釈 161 の代替となる注釈の文言を検討することになっていた。CCFA52 では、電子的作業部会での各国からの使用実態・目的についてのコメントを基に議論される予定である。

⑨ 議題 5(d). 硝酸塩及び亜硝酸塩に関する入手可能なデータについての情報

硝酸塩・亜硝酸塩の含有実態、摂取量等のデータについて回付文書「CL 2019/49-FA」への各国からの回答を基に、リスク評価の科学的助言の必要性を継続して検討する予定となっている。日本からも過去の硝酸塩の含有実態等の調査について情報を提供している。

⑩ 議題 6. 食品添加物の国際番号システム (INS) (CXG 36-1989)の改訂原案

CCFA は、食品添加物毎に物質名の代替として用いる番号、食品中での機能分類及び技術的目的をまとめて、INS に関するガイドライン「CXG 36-1989」に記載しているが、INS の変更／追加に関する各国の提案に対応するために、電子的作業部会を設置している。CCFA52 では、各国から提案があった INS の変更／追加、INS 番号を追跡する方法について、電子的作業部会の検討結果に基づいて議論を行う予定になっている。

⑪ 議題 7. JECFA による評価のための優先物質リストの追加及び変更の提案

CCFA では、各国からの提案に基づき、食品添加物の評価優先リストを作成して、リスク評価機関である JECFA に対して評価を依頼する物質を選定している。CCFA52 では、回付文書「CL 2019/41-FA」に対して、コロンビア、日本、European Chemical Industry Council (CEPIC)、EU Specialty Food Ingredients、International Council of Beverages Associations (ICBA)、International Organization of the Flavor Industry (IOFI)、International Stevia Council (ISC)、DSM Food Specialties から回答があった。日本からは、グルタミンナーゼについて評価依頼を提案している。

⑫ 議題 8. GSFA オンラインシステムの状況及び分析

GSFA のデータベースを基に PDF ファ

イルとオンラインの検索がコーデックス委員会のウェブサイトで利用可能であるが、CCFA50 の段階で技術的な問題が見つかったことから解決策を探っていた。CCFA52 においてコーデックス事務局より対応の進捗について報告される予定である。

C. D.-2 意見交換会について

過去に日本の行政代表団の技術顧問として CCFA 会議に参加経験のある 5 名の方々にお集まりいただき、COVID-19 感染拡大を踏まえた我が国の CCFA への対応や中長期的な視野に立った対策について討論して、その結果をまとめた(別添資料 3)。

主な意見は以下であった。

① バーチャル会議の利点・欠点(コーデックス会議を想定して)

・利点は費用・時間が節約できること、欠点は物理的会合で出来た事前協議が難しいこと。

・CCFA ではインセッション会議が三つある。インセッション会議においては、その場での方針決定等の対応が必要であるが、代表団内の認識共有等が課題となる。

・参加メンバーが各々別の場所から参加した場合には、その場での対応が難しいと思うので、バーチャル会議であっても、我が国政府代表団の参加メンバーは同じ会場(部屋)に集まるのが良い。

② 日本が中長期的視点で対応すべきこと

- ・人材の育成が課題。
- ・厚生労働省のコーディネーター担当者は短期間で交代するが、継続性、連続性を保ち長期的視点に立った対応をとることに課題がある。
- ・農林水産省とも意見交換するのが良いと思う。

本意見交換会を行った時点では、CCFA52 の開催形式が物理的会合かバーチャル会合かは決まっていなかったが、2021年3月26日にバーチャル会合で行うことが発表されている。CCFA52 のバーチャル会合に対処するにあたり、本意見交換会で CCFA 会議参加経験から出された意見は大変有益である。

E. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

CODEX ALIMENTARIUS COMMISSION **E**



Food and Agriculture
Organization of the
United Nations



World Health
Organization

Viale delle Terme di Caracalla, 00153 Rome, Italy - Tel: (+39) 06 57051 - E-mail: codex@fao.org - www.codexalimentarius.org

Agenda item 1

CX/FA 20/52/1
November 2019

JOINT FAO/WHO FOOD STANDARDS PROGRAMME

CODEX COMMITTEE ON FOOD ADDITIVES

Fifty-second Session

Lanzhou, China, 2-6 March 2020

PROVISIONAL AGENDA

The session will be held at the Crown Plaza, Lanzhou, Gansu Province, China
from Monday 2 March at 9.30 hours to Friday 6 March 2020

The two meetings of the Physical Working Groups will be held at the same venue as follows: i) the *General Standard for Food Additives*, Friday 28 February (09:00 –18:00) and Saturday 29 February (09:00 – 12:30); and ii) Endorsement/ Alignment of the food additive provisions, Saturday 29 February 2020 (14:30 - 18:00).

Agenda item	Subject matter	Document reference
1	Adoption of the Agenda	CX/FA 20/52/1
2	Matters Referred by the Codex Alimentarius Commission and other subsidiary bodies	CX/FA 20/52/2
3(a)	Matters of Interest arising from FAO/WHO and from the 87 th Meeting of the Joint FAO/WHO Expert Committee on Food Additives (JECFA)	CX/FA 20/52/3
3(b)	Proposed draft specifications for identity and purity of food additives arising from the 87 th JECFA meeting	CX/FA 20/52/4
	- Comments at Step 3	CX/FA 20/52/4 Add.1
4(a)	Endorsement and/or revision of maximum levels for food additives and processing aids in Codex standards	CX/FA 20/52/5
4(b)	Alignment of the food additive provisions of commodity standards: Report of the EWG on Alignment	CX/FA 20/52/6
5(a)	<i>General Standard for Food Additives</i> (GSFA): Report of the EWG on the GSFA	CX/FA 20/52/7
5(b)	<i>General Standard for Food Additives</i> (GSFA): Proposals for new and/or revision of food additive provisions (replies to CL 2019/40-FA)	CX/FA 20/52/8
5(c)	Continuation of the discussion on the relevant provisions for sweeteners associated with Note 161	CX/FA 20/52/9
5(d)	General information on the availability of data related to nitrates and nitrites (replies to CL 2019/49-FA)	CX/FA 20/52/10

Please note that there will be no distribution of working documents through the Codex mailing list (Codex-L). Only the invitation, the provisional agenda and the report will be distributed to members and observers. All working documents, and any subsequent new documents not referenced on this Provisional Agenda, including any other information for delegates, will be published on the Codex website as they become available. This document itself will not be updated.

Working documents will not be printed and delegates are kindly requested to bring with them to the meeting all documents which have been distributed as no printed copies will be made available at the session.
Website meeting page – CCF52

Agenda item	Subject matter	Document reference
6	Proposed draft revision to the <i>International Numbering System (INS) for Food Additives</i> (CAC/GL 36-1989) - Comments at Step 3	CX/FA 20/52/11 CX/FA 20/52/11 Add.1
7	Proposals for additions and changes to the Priority List of Substances proposed for evaluation by JECFA (replies to CL 2019/41-FA)	CX/FA 20/52/12
8	Status and analysis of the GSFA online system in relation to the approach of not listing relevant commodity standards	CX/FA 20/52/13
9	Other Business and Future Work	
10	Date and Place of Next Session	
11	Adoption of the Draft Report	

INFORMATION DOCUMENTS

Information document to the discussion on the GSFA	FA/52 INF/01
Information document on food additive provisions in commodity standards	FA/52 INF/02

NOTES ON THE PROVISIONAL AGENDA

Agenda item 4: The documents listed under Agenda Item 4 (a-b) will form the basis for the discussion of the PWG on the Endorsement/ Alignment. The report of PWG will be made available as a CRD at the meeting and will be considered under this item.

Agenda item 5: The documents listed under Agenda Item 5 (a-b) will form the basis for the discussion of the PWG on the GSFA. The report of PWG on the GSFA will be made available as a CRD at the meeting and will be considered under this item.

CODEX ALIMENTARIUS COMMISSION **E**



Food and Agriculture
Organization of the
United Nations



World Health
Organization

Viale delle Terme di Caracalla, 00153 Rome, Italy - Tel: (+39) 06 57051 - E-mail: codex@fao.org - www.codexalimentarius.org

Agenda item 1

CX/FA 21/52/1
March 2021

JOINT FAO/WHO FOOD STANDARDS PROGRAMME

CODEX COMMITTEE ON FOOD ADDITIVES

Fifty-second Session

Virtual

1, 2, 3, 6, 7, and 10 September 2021

PROVISIONAL AGENDA

The meetings of the Working Groups will take place virtually as follows:

- i) The *General Standard for Food Additives*, Monday 21 June to Wednesday 23 June from 11:00 to 14:00 hours CET.
- ii) Alignment of the food additive provisions, Thursday 24 June from 11:00 to 14:00 hours CET.
- iii) Endorsement of the food additive provisions, Friday 25 June from 11:00 to 12:00 hours CET.
- iv) Note 161 - Provisions for sweeteners, Friday 25 June from 12:00 to 14:00 hours CET.

Agenda item	Subject matter	Document reference
1	Adoption of the Agenda	CX/FA 21/52/1
2	Matters Referred by the Codex Alimentarius Commission and other subsidiary bodies	CX/FA 21/52/2
3(a)	Matters of Interest arising from FAO/WHO and from the 87 th , 89 th and 91 st Meetings of the Joint FAO/WHO Expert Committee on Food Additives (JECFA) respectively	CX/FA 21/52/3, CX/FA 21/52/3 Add.1 CX/FA 21/52/3 Add.2
3(b)	Proposed draft specifications for identity and purity of food additives arising from the 87 th , 89 th and 91 st JECFA meetings respectively	CX/FA 21/52/4 CX/FA 21/52/4 Add.1 CX/FA 21/52/4 Add.2
	- Comments at Step 3	CX/FA 21/52/4 Add.3
4(a)	Endorsement and/or revision of maximum levels for food additives and processing aids in Codex standards	CX/FA 21/52/5
4(b)	Alignment of the food additive provisions of commodity standards: Report of the EWG on Alignment	CX/FA 21/52/6
5(a)	<i>General Standard for Food Additives</i> (GSFA): Reports of the EWG on the GSFA	CX/FA 21/52/7 CX/FA 21/52/7 Add.1
5(b)	<i>General Standard for Food Additives</i> (GSFA): Proposals for new and/or revision of food additive provisions (replies to CL 2019/40-FA and CL 2020/36-FA)	CX/FA 21/52/8

Please note that there will be no distribution of working documents through the Codex mailing list (Codex-L). Only the invitation, the provisional agenda and the report will be distributed to members and observers. All working documents, and any subsequent new documents not referenced on this Provisional Agenda, including any other information for delegates, will be published on the Codex website as they become available.

Website meeting page – CCF52

Agenda item	Subject matter	Document reference
5(c)	Continuation of the discussion on the relevant provisions for sweeteners associated with Note 161	CX/FA 21/52/9
5(d)	General information on the availability of data related to nitrates and nitrites (replies to CL 2019/49-FA)	CX/FA 21/52/10
6	Proposed draft revision to the <i>International Numbering System (INS) for Food Additives</i> (CAC/GL 36-1989)	CX/FA 21/52/11
	- Comments at Step 3	CX/FA 21/52/11 Add.1
7	Proposals for additions and changes to the Priority List of Substances proposed for evaluation by JECFA (replies to CL 2019/41-FA and CL 2020/37-FA)	CX/FA 21/52/12
8	Status and analysis of the GSFA online system in relation to the approach of not listing relevant commodity standards	CX/FA 21/52/13
9	Other Business and Future Work	
10	Date and Place of Next Session	
11	Adoption of the Draft Report	

INFORMATION DOCUMENTS

Information document to the discussion on the GSFA	FA/52 INF/01
Information document on food additive provisions in commodity standards	FA/52 INF/02

NOTES ON THE PROVISIONAL AGENDA

Agenda item 4: The documents listed under Agenda Item 4 (a-b) will form the basis for the discussion of the virtual WG on the Endorsement/ Alignment. The reports of WG will be made available as CRDs at the meeting and will be considered under these items.

Agenda item 5: The documents listed under Agenda Item 5 (a-c) will form the basis for the discussion of the virtual WGs on the GSFA and Note 161 respectively. The reports of these WGs will be made available as CRDs at the meeting and will be considered under these items.

コーデックス食品添加物部会 (CCFA) (* 1) に関する意見交換会
(2021年2月1日14:20から16:20 オンライン会議) により得られた課題及び対応案

窪崎敦隆 (国立医薬品食品衛生研究所 食品添加物部)

資料 第 89 回 JECFA (Summary and Conclusions) (* 2)

第 1 部テーマ バーチャル会議の意見交換の利点・欠点について

バーチャル会議は、当時から考えると知識・技術が進んで実現するもので素晴らしいと思う。記録も残るので良い。コロナパンデミックの現在、コロナを避けることが必要で課題を少なくして対応するのが良い。バーチャル会議の技術的面の懸念は、ソフトが種々あるので良いソフトを選ぶこと。ソフトの更新をキープアップし操作に慣れることが必要。パソコンやWIFIの普及など発展途上国では大変。これらを克服するのが課題。バーチャル会議のメリットは、費用・時間が節約できること。1日4～5時間かけてやる場合、ストレスもあるので、ストレスをクリアしていかなければいけない。物理的会議は、事前協議ができるのが大きなメリット。コロナの状況を見ての対策も考える必要がある。

会議の進め方は資料が事前配布されているので、オンライン会議でも粛々と進められると思う。バーチャル会議で、物理的会議と同じことをするのは制約を受ける。例えば、CCFAでは、仏語や西語しか分からない参加者もいて通訳が付いた。バーチャルなので、画面に図表を示すことが可能だが。参加者の制限はどうなるのか。傍聴者をどうするのか。

事務局のお膳立ては大変だが、議長の仕切り、采配しだいではうまくできると思う。

決まっている議題は、国の対処方針も用意して望めるが、CCFAではインセッション会議が三つある。インセッション会議で議題とするものは、その場の対応となり、それが課題と考える。

技術課題として、事務局、参加者の知識・熟練度が充実していないと、会議のスタートが遅れる。機器の取り扱いに不慣れな方がいて、セッティングだけで15～20分を費やすため、環境整備が重要である。Zoomと言うソフトでは、会議途中からブレイクアウトルームと云うグループに分かれて議論できるシステムがある。細かい話を検討する場合は、グループに分かれた方が良い。

通信環境が悪い場合でも可能なような対策も必要と考える。

国際会議の際に運営事務局から、通信負荷を減らすため、画像や音声を切るように言わ

れた。大人数が参加する会議ではこのようなことはマナーとなるかも。また、物理会議とは異なり、自分の周りが見えないため、ルールはしっかりと決めるべきと考える。オンラインセッション会議など当日の打合せは、事前に資料を入手して対応することが必要。

オンライン会議ではその場での対応が難しいと思う。同じ会場（部屋）に参加メンバーが集まるのが良い。

ホテルに詰めて対応することも必要。CCFA だけの参加や、前後の打合せを短時間にすれば、自宅から通える。

SNS、メッセージ、チャットなど、活用できるものをうまく活用し、目的を達成すべき。物理会議とバーチャル会議とを使い分けることが重要と考える。

第2部テーマ 中長期視点で日本が考えておくべきこと

人材の育成が課題と思う。

農水省とも意見交換するのが良いと思う。

厚生労働省のコーデックス担当者は短期間で交代するが、継続性、連続性を保ち、長期的視野に立った対応をとることに課題がある。海外メンバーとの交流も、顔見知りでないためスムーズでない。

用語・略語の説明

* 1 CCFA：Codex Committee on Food Additives の略でコーデックス食品添加物部会を指す。

2007年にCCFACより分岐した組織。食品添加物の食品中の最大濃度の設定、承認。リスク評価の優先リストの作成。食品添加物の機能分類の指定。食品添加物の純度、性状の勧告。食品中の食品添加物の分析法の検討。食品添加物に関連する規格の検討を行う。

* 2 JECFA：Joint FAO/WHO Expert Committee of Food Additives の略でFAO/WHO合同食品添加物専門家会議を指す。

各国の添加物規格に関する専門家及び毒性学者からなり、各国によって実施された添加物の安全性試験の結果を評価し、一日摂取許容量（ADI）を決定する。

以上



Food and Agriculture
Organization of the
United Nations



JOINT FAO/WHO EXPERT COMMITTEE ON FOOD ADDITIVES
Eighty-ninth meeting (Safety evaluation of certain food additives)
Virtual meeting, 1–12 June 2020

SUMMARY AND CONCLUSIONS

Issued on 10 July 2020

A meeting of the Joint FAO/WHO Expert Committee on Food Additives (JECFA) was held on a virtual online platform, on 1–12 June 2020. The purpose of the meeting was to evaluate the safety of certain food additives and flavourings. The present meeting was the 89th in a series of similar meetings. The tasks before the Committee were (a) to further elaborate principles governing the evaluation of food additives, (b) to undertake safety evaluations of certain food additives, (c) to review and prepare specifications for certain food additives and (d) to establish specifications for certain flavouring agents.

The 89th meeting of JECFA was originally scheduled for 2–11 June 2020 at WHO headquarters in Geneva, Switzerland. Because of the travel restrictions and lock-downs due to the COVID-19 pandemic in many countries, the joint FAO/WHO JECFA secretariat was unable to convene the meeting as scheduled. Therefore, the meeting was held as a video-conference.

In view of the countries of origin of the invited experts, the only possible time for a video-conference was restricted to a 4-h time slot (12:00–16:00 CEST) a day. This allowed approximately 40% of the usual daily time (8–10 h) of a JECFA 8-day face-to-face meeting.

As under the circumstances less meeting time had been available, compared to a normal JECFA meeting, the food additives natamycin (INS 234), natamycin (INS 235), β -glucanase from *Streptomyces violaceoruber* expressed in *S. violaceoruber*, collagenase from *S. violaceoruber* expressed in *S. violaceoruber*, phosphodiesterase from *Penicillium citrinum* and phospholipase A2 from *S. violaceoruber* expressed in *S. violaceoruber*, which were originally scheduled for discussion, had therefore not been considered. Furthermore, it became quickly apparent early in the meeting that the experts of the 89th JECFA would not have been able to complete the evaluations for alicyclic ketones, secondary alcohols and related esters and a toxicological evaluation of riboflavin from *Ashbya gossypii*. Therefore, these two evaluations have also been deleted from the meeting agenda. All compounds that had been deleted from the agenda of the 89th JECFA will be re-scheduled for evaluation at future JECFA meetings. More details can be found in Annex 4.

Dr Antonia Mattia served as Chairperson and Professor Cantrill as Vice-Chairperson.

Mr Kim Petersen, World Health Organization (WHO), and Dr Markus Lipp, Food and Agriculture Organization of the United Nations (FAO), served as joint secretaries.

The Committee evaluated the safety of six food additives, conducted an exposure assessment for one group of food additives and revised the specifications for three other food additives (including one group). The Committee also evaluated the safety of two groups of flavouring agents and revised the specifications for 12 flavouring agents. Tentative specifications were prepared for three, as the safety evaluations were not completed.

The report of the meeting will be published in the WHO Technical Report Series. The report will summarize the main conclusions of the Committee in terms of acceptable daily intakes and other toxicological, dietary exposure and safety recommendations. Information on deliberations and conclusion with regard to the specifications for the identity and purity of certain food additives examined by the Committee and on the specifications for the flavouring agents will also be included.

The participants are listed in Annex 1. Information of a general nature that the Committee wishes to disseminate quickly is provided in Annex 2. Future work and recommendations arising from the meeting